

中途視覚障害者のPosttraumatic Growthを促す 環境の創出を目指して

—視覚障害の受障からの心的回復と成長を支えるもの—

保健科学部・助教

松田 えりか

キーワード

Posttraumatic Growth (PTG)、中途視覚障害、鍼灸、障害者が集まる分離的な場、ソーシャル・キャピタル

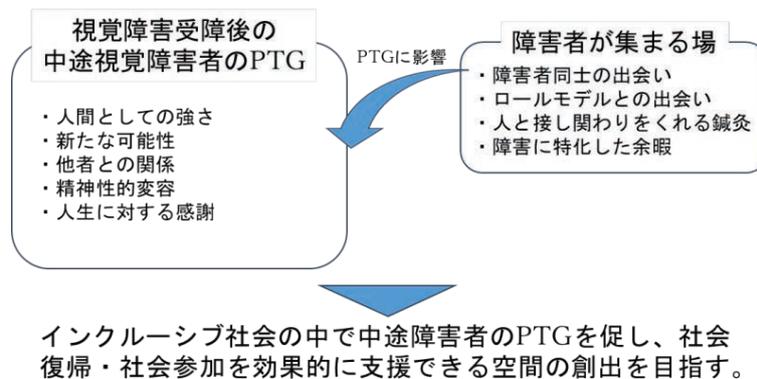
研究概要

PTGとは大きな困難事象後にそれを契機としてポジティブな変容を遂げる心理的変容のことで、中途視覚障害者の社会復帰に重要な資質とされています。

これまで、PTGを促す要因として、障害者が集まる場の要素が関係することを明らかにしてきました。

インクルーシブな社会の形成が進む中で、障害者が集まる場については、今後はその形状に変化が生じることが予測されますが、どのような状況になっても、中途視覚障害者の社会復帰にはPTGの誘発が不可欠です。

そこで、これを促す要素を備えた環境の創出を視野に入れ、視覚障害者を含む中途障害者の最適な社会復帰の在り方を検討しています。



【参考文献】 Matsuda E, Miyauchi H. *Education Sciences*. 2023; 13(3):256-268.
松田えりか・宮内久絵. 職業リハビリテーション. 2024; 7(2), 2-9.

応用例・用途

- ・視覚障害をはじめとした中途障害者の障害受障後の社会復帰・社会参加支援の在り方に関する示唆
- ・インクルーシブな社会実現のために障害者が集う場に求められる要素
- ・障害者同士が出会う空間・機会・環境づくりに関する情報交換と情報発信
- ・共生社会の実現を目指した理療教育の確立への示唆



国立大学法人 筑波技術大学 学術・研究委員会

【問い合わせ先】

〒305-8520 茨城県つくば市天久保4-3-15 大学戦略課 企画戦略係

TEL : 029-858-9339 FAX : 029-858-9312 E-MAIL : kenkyo@ad.tsukuba-tech.ac.jp